

昭和六年度直轄工事年報

總論

第一 治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニアリ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ著手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ専ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果、同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スル事トナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川	信濃川	木曾川	淀川	九頭龍川
吉野川	庄川	高粱川	遠賀川	北上川
雄物川	荒川	阿賀野川	富士川	最上川
神通川	岩木川	加古川	綠川	斐伊川

（以上二十河川）

第二期河川

天龍川	阿武隈川	筑後川	那珂川	庄内川
中川	手取川	矢作川	大和川	吉井川
馬淵川	紀ノ川	大淀川	由良川	多摩川
關川	米代川	鳴瀬川	久慈川	菊池川
郷川	旭川	渡川	蘆田川	川内川
相坂川	千代川	鶴見川	大野川	球磨川
相模川	肱川	矢部川	狩野川	圓山川
肝屬川	太田川（静岡）	豐川	白川	大分川

酒匂川 鈴鹿川 太田川(廣島) 名取川 仁淀川
(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ベノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノ事ニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、産業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二臨時治水調査會ニ於テ慎重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度内ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ即チ左記河川是ナリ

鬼怒川(利根川支川)	小貝川(利根川支川)	信濃川上流(新潟縣下)	犀川(信濃川支川)
野洲川(淀川支川)	木津川(淀川支川)	北上川上流	雄物川上流
最上川上流	天龍川	阿武隈川	筑後川
那珂川	庄内川	手取川	矢作川
大和川	吉井川	馬淵川	紀ノ川

大淀川	由良川	關川	米代川
久慈川	旭川	渡川	蘆田川
川内川	千代川	鶴見川	大野川
相模川	肱川	狩野川	肝屬川
豐川	白川	大分川	酒匂川
鈴鹿川	太田川（廣島）	名取川	仁淀川
新宮川	安倍川	菊川	大井川
北川	常願寺川	小矢部川	黒部川
天神川	日野川	佐波川	那賀川
土器川	（以上五十七河川）		

右ノ内帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津及川内ノ十六河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ銳意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニアラザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ内務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬兩川改修費中へ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尙翌八年度ヨリハ太田川、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與へ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ大正十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ増補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ

第一期河川中既ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川、木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川(利根川支川)、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期(江戸川、中川ヲ含ム)、荒川下流ノ十一流域ニシテ工事中ノモノハ荒川、北上川、阿賀野川、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、多摩川、千曲川(信濃川上流)、加古川、神通川、岩木川、太田川(静岡)、阿賀、阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流(新潟縣下)、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川(利根川支川)、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川(淀川支川)ト新ニ川内川ヲ加ヘタル三十五流域ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ノモノハ木曾川、淀川、利根、渡良瀬兩川、信濃川、荒川ノ六河川ナリ又各河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川(淀川支川)、神通川、桂川(淀川支川)ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川、富士川、千曲川(信濃川上流)、鬼怒川(利根川支川)、常願寺川、手取川、揖斐川(舊木曾川支川)、木津川(淀川支川)ノ八河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノナリトス

第一 港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ時運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘタレバ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絶シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ即チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戸、敦賀、關門、海峽（下關、門司）ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、青森、仙臺灣內ノ一港、其後伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月清水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、今治、小松島、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十月小名濱、細島、大分、浦戶、宮古、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月宇野、三角ノ兩港ヲ追加シ三十一港トナレリ而シテ右ノ諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功セシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ起工シ又神戸港防波堤築造工事、同港修築工事、門司港修築工事、橫濱港維持工事ハ大正八年度ヨリ起工シ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ內神戸港防波堤築造工事、橫濱港維持工事ハ同十年度ヨリ各修築工事ニ包括

サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ其工費ノ二分ノ一ヲ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ新潟港ハ同三分ノ一ヲ補助セラレ同六年度ヨリ起工シ長崎港ハ工費二分ノ一ヲ補助セラレ同九年度ヨリ起工シ清水港モ同率ノ補助ニ依リ同十年度ヨリ起工シ高松、境ノ兩港亦工費二分ノ一ヲ補助セラレ同十一年度ヨリ起工シ今治港ハ今治市施工ノ後ヲ承ケ同十二年度ヨリ工費二分ノ一ヲ補助セラレテ續工シ小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戶、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦大體同一ノ補助率ニ依リ國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右補助港灣ノ工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施工スルモノナリ其外補助工事トシテ縣又ハ市ニ於テ施行スルモノアリ即チ四日市港ハ明治四十三年度ヨリ、船川港ハ同四十四年度ヨリ青森港ハ大正三年度ヨリ、大阪港ハ同七年度ヨリ、名古屋港ハ同九年度ヨリ、那覇港ハ同十年度ヨリ、何レモ大體二分ノ一ノ補助ヲ受ケ縣又ハ市ニ於テ工事ヲ施行シタルガ内青森港ハ大正十二年度ニ於テ船川港ハ昭和六年度ニ於テ共ニ竣功ヲ告ゲタリ

港灣工事中既ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港第一期、新潟港、長崎港、高松港、下關港、門司港、境港ノ七港ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽、鹽釜港、神戸港、橫濱港、清水港、敦賀港第二期、小松島港、今治港、鹿兒島港、伏木港、土崎港、小名濱港、宮古港、浦戶港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港ノ十七港灣ナリトス

第三 復舊及補修事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモ

ノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ横濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ横濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ横濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之レガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工ニ與ヘタル被害ニ對シテモ昭和三四ノ兩年度ニ之レガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコト、ナレリ又信濃川大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ビーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度内ニ完成シ補修工事モ本年度ヲ以テ之レガ完成ヲ見タリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事及利根渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事ヲ殘スノミナリトス

第四 失業救濟事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ互ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ救

濟策ヲ講ズルコトナリ從來地方ヲシテ適當ナル事業ヲ起サシメ之レニ對シ補助ヲ與ヘタリシヲ國家ノ直營事業トシテ本年度ニ於テ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ舉グル計畫ナリトス

失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテハ普遍的ナル道路工事ニ依ルヲ得策トシ先ヅ以テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノトス本工事ハ三府二十九縣十八路線ニ互ル廣汎ナル範圍ニシテ總工事費豫算一千七百五十萬圓(工事費一千六百六十六萬七千圓、事務費八十三萬三千圓)ヲ要シ其三分ノ一ヲ地方ノ負擔トス而シテ各土木出張所ニ於テ其分掌區域ニ依リ分割施工シ總テ機械力ニ依ラズ昭和六年度中ニ完了スルヲ目途トシテ着手スルモノニシテ其工事ニ使役サル、勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ延人員五百八十三萬三千人ヲ豫定シ失業緩和ニ資スルモノナリ

本年度内ニ竣功ヲ見タルモノハ二十六號線(沖繩)ノミニシテ他ノ四十八箇所ハ主トシテ其工事ヲ了シタルモノ一部ノ殘工事又ハ施工地ノ跡整理等未了ノ爲メ遺憾乍ラ工費ノ殘額ヲ次年度へ繰越スコトトセリ

第五 本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行シタルハ河川改修三十五、河川附屬物及水路維持五、砂防九、港灣改良二十、復舊及補修三、失業救濟四十九、合計百二十一工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其ノ任ニ當レリ而シテ是等ノ總工費豫算額ハ河川改修工事費三億二千三百三十八萬四千七百三十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千二百五十八萬八千五百五十四圓、砂防工事費九百二十四萬九千三百三十三圓、港灣改良工事費一億二千四百六十一萬百六十五圓、復舊及補修工

事費九百十四萬六千二百四十六圓、失業救済工事費一千六百六十八萬五千六百七十二圓、合計四億九千五百六十六萬四千五百二圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億三千四百三十八萬四千八百二圓ニ達シ其内本年度ノ竣功ニ屬スルモノ三千五百二十八萬五百三圓ナリトス本年度末竣功歩合ハ河川改修工事費ハ其總工費ノ六割五分ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同五割二分、砂防工事費ハ同五割八分、港灣改良工事費ハ同七割二分、復舊及補修工事費ハ同八割、失業救済工事費ハ九割五分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同六割七分ニ當レリ而シテ明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル各工事ヲ累算スレバ二億圓以上ノ巨額ニ達セルモノナリトス

今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ更ニ其工事ノ著手順ニ依リ列記スレバ左表ノ如シ但シ前年報ニ比シ差違アルハ工事費豫算ヲ改訂セルモノアルト、竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中「○」ハ管理者負擔額「◎」ハ縣負擔額「▲」ハ提供材料及勞力費「■」ハ製作品及無代價品評價額「●」ハ千住機械工場委託製作品價額「●」ハ依託工事費ヲ示ス

河	工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功			殘高	竣功歩合
				前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計		
荒川改修工事	東京	11,001,100	▲	9,710,000	1,291,100	11,001,100	9,710,000	0.91
北上川改修工事	仙臺	1,114,700	□	1,114,700	0	1,114,700	1,114,700	0.99
阿賀野川改修工事	新潟	11,845,000	◎	11,845,000	0	11,845,000	11,845,000	0.98
最上川改修工事	新潟	11,341,100	▲	9,710,000	1,631,100	11,341,100	9,710,000	0.85

[illegible]

河川改修工事						工事名		工費豫算		竣功高		殘高	歩合功
						出張所	擔當	前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計			
小計 (三五)	千代川改修工事	大阪	四、八七五、〇六〇	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	一、八七五、〇六〇	〇・八
	蘆田川改修工事	大阪	四、八七五、〇六〇	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	▲	二、二六六、二二四	一、八七五、〇六〇	〇・八
	紀ノ川改修工事	大阪	四、〇六六、四三八	▲	一、六六六、四三八	▲	一、六六六、四三八	▲	一、六六六、四三八	▲	一、六六六、四三八	二、四〇〇、〇〇〇	〇・四
	筑後川改修工事	下關	九、七五五、五五五	▲	三、六六六、四三八	▲	三、六六六、四三八	▲	三、六六六、四三八	▲	三、六六六、四三八	六、〇八八、〇六六	〇・六
	緑川改修工事	下關	三、四七七、八八〇	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	二、三三六、七三九	〇・三
	北川改修工事	名古屋	二、〇四六、七六七	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	▲	一、一四一、一四一	九、〇二五、〇二五	〇・一
	旭川改修工事	大阪	六、六六六、八六六	▲	三、八八八、八八八	▲	三、八八八、八八八	▲	三、八八八、八八八	▲	三、八八八、八八八	二、七七八、八八八	〇・一
	鬼怒川改修工事	東京	三、三三三、三三三	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	一、一一一、一一一	〇・一
	大淀川改修工事	下關	五、五五五、五五五	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	▲	二、二二二、二二二	三、三三三、三三三	〇・一
	狩野川改修工事	横濱	一、二二二、二二二	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	二、二二二、二二二	〇・一
大計 (三五)	那賀川改修工事	神戸	四、一〇一、〇一〇	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	三、〇〇〇、〇〇〇	〇・一
	大野川改修工事	下關	四、八八八、八八八	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	三、八八八、八八八	〇・一
	渡川改修工事	神戸	六、〇〇〇、〇〇〇	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	五、〇〇〇、〇〇〇	〇・一
	木津川改修工事	大阪	三、〇〇〇、〇〇〇	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	二、〇〇〇、〇〇〇	〇・一
	川内川改修工事	鹿兒島	〇、〇〇〇、〇〇〇	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	▲	一、〇〇一、一〇一	〇、〇〇〇、〇〇〇	〇・一
	小計 (三五)		三、三三三、三三三	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	▲	一、一〇一、一〇一	三、三三三、三三三	〇・一

[illegible]

工 事 名	出 張 所	工 費 豫 算	竣 功 高			殘 高	歩 竣 合 功
			前年度迄竣功高	本年度竣功高	合 計		
横濱港修築工事	横濱	一八、八四七、九六五	一〇、八四六、二二二	一、三三六、一八四	一二、一〇二、四〇六	六、六六〇、五八一	〇・六六
清水港修築工事	横濱	七、七七八、五七五	六、四四〇、六七七	三三六、九八八	六、七七八、六六五	一、〇一〇、九一八	〇・八七
敦賀港修築工事	名古屋	三、四二二、一〇三	三、一五五、六八九	二六六、四一〇	三、四二二、一〇三	三、三九八、一六〇	〇・九八
境港修築工事	大阪	一、八四七、〇三三	一、八四七、〇三三	一、八四七、〇三三	一、八四七、〇三三	一、八四七、〇三三	一・〇〇
小松島港修築工事	神戸	二、九八五、一三三	一、六三三、七二二	一、三五一、四一〇	二、九八五、一三三	一、〇六四、五二九	〇・八四
今治港修築工事	神戸	二、七〇〇、三三三	二、三九四、三三三	三〇六、〇〇〇	二、七〇〇、三三三	二、二一〇、〇〇〇	〇・八二
鹿兒島港修築工事	下關	二、三三三、七六五	一、〇〇〇、九八八	一、三三三、七六五	二、三三三、七六五	一、〇〇〇、九八八	〇・八二
伏木港修築工事	新潟	四、一八八、一八八	二、一〇〇、四八八	二、〇八八、七〇〇	四、一八八、一八八	二、〇八八、七〇〇	〇・八七
土崎港修築工事	仙臺	二、三三〇、〇〇〇	九四七、七〇〇	一、三八二、三〇〇	二、三三〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	〇・八二
小名濱港修築工事	仙臺	二、一八四、三〇〇	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	二、一八四、三〇〇	二、一八四、三〇〇	〇・八二
宮古港修築工事	仙臺	一、六〇四、四八八	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	一、六〇四、四八八	一、六〇四、四八八	〇・八二
浦戸港修築工事	神戶	三、一七二、二二二	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	三、一七二、二二二	二、九七四、四二二	〇・八二
七尾港修築工事	新潟	二、一五八、七六六	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	二、一五八、七六六	二、一五八、七六六	〇・八二
尾道港修築工事	大坂	三、〇〇一、二〇二	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	三、〇〇一、二〇二	二、八〇二、四〇二	〇・八二
舞鶴港修築工事	大坂	一、六三三、八八八	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	一、六三三、八八八	一、六三三、八八八	〇・八二
博多港修築工事	下關	三、八四四、九六〇	九八五、五〇〇	一、二〇〇、八〇〇	三、八四四、九六〇	三、八四四、九六〇	〇・八二
小計 (三〇)		二二、六四〇、一五五	八、一八五、八八八	六、六六〇、六六五	一四、八四六、五五三	三、三九八、一六〇	〇・八二
復 舊 工 事	東京	五、四三三、一〇六	二、三三三、三三三	一、〇〇〇、〇〇〇	三、三三三、三三三	一、三三三、三三三	〇・八二
信濃川補修工事	新潟	五、四三三、一〇六	二、三三三、三三三	一、〇〇〇、〇〇〇	三、三三三、三三三	一、三三三、三三三	〇・八二
利根、渡良瀬兩川築堤其他	東京	一、六〇一、四〇〇	—	七九、九三三	一、六〇一、四〇〇	一、六〇一、四〇〇	〇・八二

及事		失 業 救 濟 工 事				
小		計 (三)				
國道一號線(戶塚)改良工事	横濱	九、一四六、四六六	六、七三三、三〇八	五、一七二、二二六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道一號線(湯本)改良工事	横濱	四、三三三、八八八		四、一〇一、一八八	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道一號線(金谷)改良工事	名古屋	二、六二〇、〇〇〇		二、三三三、八八八	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道一號線(蟹江)改良工事	名古屋	一、〇〇〇、〇〇〇		一、〇三六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道一號線(桑名)改良工事	名古屋	二、〇〇〇、〇〇〇		二、〇三六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(滋賀)改良工事	大 阪	二、〇〇〇、〇〇〇		二、〇三六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(京都)改良工事	大 阪	五、七九〇、〇〇〇		五、八二六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(兵庫)改良工事	大 阪	一、〇〇〇、〇〇〇		一、〇三六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(岡山)改良工事	大 阪	三、七三三、八〇〇		三、七六九、二四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(廣島)改良工事	大 阪	四、二二二、〇〇〇		四、二五八、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(赤間)改良工事	下 關	三、八八一、三一一		三、八一七、七五七	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(三市)改良工事	下 關	五、六三三、八六九		五、六三九、三一二	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道二號線(熊本)改良工事	下 關	二、八六六、〇〇〇		二、八七二、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道三號線(鹿兒島)改良工事	下 關	二、八六六、〇〇〇		二、八七二、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道四號線(梅島)改良工事	東 京	六、一五五、三三三		六、一六一、七七九	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道四號線(宇都宮)改良工事	東 京	八、九七〇、〇〇〇		八、九七六、四四六	一、〇三六、四四六	〇・九八
國道四號線(黒磯)改良工事	東 京	二、二二二、〇〇〇		二、二二八、四四六	一、〇三六、四四六	〇・七〇
國道四號線(浦之上)改良工事	仙 臺	二、三三三、八八八		二、三三九、三三四	一、〇三六、四四六	〇・八八
國道四號線(本町)改良工事	仙 臺	一、九七九、七九七		一、九八六、二四三	一、〇三六、四四六	〇・九四
國道四號線(郡山)改良工事	仙 臺	九、七九七、七九七		九、八〇四、二四三	一、〇三六、四四六	〇・八四
國道四號線(七北)改良工事	仙 臺	一、七九七、七九七		一、八〇四、二四三	一、〇三六、四四六	〇・九七

[illegible]

第六竣功工事

直轄施行ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和五年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列記スレバ左表ノ如シ但シ利根川改修工事ノ竣功高前年度年報ノ掲載額ト差異アルハ内譯ニ於テ訂正ヲ要シタルニ依ル

工 事 名	府 縣 名	著 手 年 度	竣 功 年 度	豫 算 高	竣 功 高
河川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年	明治三十六年	一、四八八、〇〇〇 円	一、四八八、〇〇〇 円
川工改修工事	大阪、滋賀、京都	同 二十九年度	同 四十三年	一〇、〇八二、〇〇〇	一〇、〇八二、〇〇〇
改修工事	岐阜、愛知、三重	同 二十年度	大正元年度	九、四四四、一三八	九、四四四、一三八
木曾川下流改修工事					

河川改修工事		砂防工事		港灣改修工事												
工	事	工	事	工	事											
庄川改修工事	遠賀川改修工事	淀川下流改修工事	九頭龍川改修工事	渡良瀬川改修工事	信濃川改修工事	吉野川改修工事	高梁川改修工事	利根川改修工事	荒川下流改修工事	吉野川流域砂防工事	野洲川流域砂防工事	神通川流域砂防工事	小	敦賀港修築工事	新潟港修築工事	長崎港修築工事
富山	福岡	大阪	福岡	茨城、群馬	新潟	徳島	岡山	東京、埼玉、千葉	茨城、栃木、群馬	徳島	滋賀	岐阜	計（三）	福井	新潟	長崎
明治三十三年度	同三十九年度	同四十年度	同三十三年度	同四十三年度	同四十年度	同四十年度	同四十年度	同三十三年度	同四十四年度	大正四年度	同四年度	同八年度	計（三）	明治四十二年度	大正六年度	同九年度
大正元年度	同七年度	同十一年度	同十三年度	昭和元年度	同二年度	同二年度	同二年度	同五年度	同五年度	大正九年度	同十三年度	昭和五年度	計（三）	大正二年度	同十四年度	昭和二年度
二、九七、一、四三〇	四、八二、一、〇〇〇	三、七五、〇〇〇	五、四四、〇〇〇	一一、五〇〇、〇〇〇	三三、四八、一、九六〇	三三、四八、一、九六〇	二、七、九、〇〇〇	六、三、三、八、六〇〇	三、一、三、二、〇〇〇	一、四〇、〇〇〇	六、〇〇、〇〇〇	二、五、八、八、八	四、八、八、八	六、〇〇、〇〇〇	二、〇〇、〇〇〇	二、〇〇、〇〇〇
二、九七、一、四三〇	四、八二、一、〇〇〇	三、七五、〇〇〇	五、四四、〇〇〇	一一、五〇〇、〇〇〇	三三、四八、一、九六〇	三三、四八、一、九六〇	二、七、九、〇〇〇	六、三、三、八、六〇〇	三、一、三、二、〇〇〇	一、四〇、〇〇〇	六、〇〇、〇〇〇	二、五、八、八、八	四、八、八、八	六、〇〇、〇〇〇	二、〇〇、〇〇〇	二、〇〇、〇〇〇

良工事		
	高松港修築工事 下關港修築工事	香山川口
小計(五)	十一年度 同	三年度 同
總計(二一)	十年 同	四年度 同
	一九九、五六三、四五六	一九八、七〇一、四〇三
	一一、一四、一〇七	一〇、八九四、八九三
	三、四、一〇〇	二、一九八、八八四
	三、一七一、一三〇	三、一七一、一三〇